

一昨日、右目の手術をしました。

緑内障の治療のための手術ですが、手術内容は白内障と同じで水晶体の入れ換えなので、よくある手術です。

しかし「目」にメスが入るなんて！と考ただけでとても怖くて、学生時代に授業で見た「アンダルシアの犬」なんか思い出して、ブルブル(((; ° ㏽)))

同じ手術を私よりずっと年配の方々が受けていらっしやるのを見て、なぜあんなに平然といられるのか？！と尊敬です。12年前に受けた乳癌の手術より怖かったです。乳癌の時は全身麻酔なので、「麻酔入ります」って言われた途端に手術終わってしまいましたから(笑)でも全身麻酔は別の意味で恐ろしいですよ。あの時は、私の命はこの麻酔科の先生の手にかかっているとまで思いましたから。麻酔や睡眠はととてもとても不思議です。

先生から「切った目の状態を見ると、やはり手術すべき目でした」みたいなことで、手遅れにならなくて良かったです。おかげさまで、こうして字も書けるし、本も読めるし、心から有難いです。

昨年はコロナで検診を何度か怠っていたことを反省。その間にちゃっちゃと病状が進んでいたんですね。コロナだからって、皆さんすべき検診を怠らないようにしてくださいね。

来週は左目。

ああ、またアンダルシアの犬.....恐ろし.....

(注:アンダルシアの犬のような切り方はいたしません)

2021.03.12 佐々木真理